



Team石川



小中一貫CSだより第10号

平成29年7月6日発行 石川小・中学校 文責(松)

石川小学校創立140周年・石川中学校創立70周年記念写真撮影ついに成功

3度目の正直でした。6月5日は天候不順、6月6日は業者の不手際で不成功。そして、6月27日(火)、6月6日ほどの晴天ではありませんでしたが、空のコンディションも良好で、石川小学校創立140周年・石川中学校創立70周年の記念の航空写真を撮影することができました。「140th」「70th」の人文字も見事に完成し、11時25分、秋田県の学校の撮影を終えた業者のセスナ機が数回、石川小・中学校上空を旋回し、撮影することができました。この後、セスナ機は第一中学校の人文字の撮影のため北上していきました。



中学校2Fより撮影

今年度2度目の小中合同参観デー

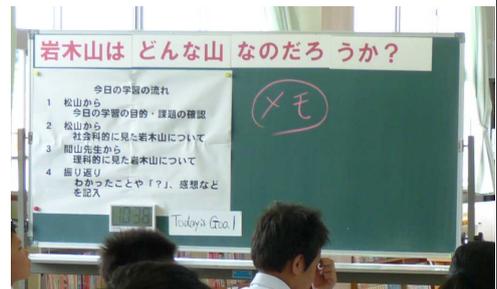


6月26日(月)、2度目の小中合同参観デーを実施しました。今回は、小学校の保護者の皆さんが多数来校する小学校のマラソン大会に合わせて行いました。学校運営連絡協議会委員の鈴木登氏をはじめ小中合計して約100名の保護者・地域の方々・教職員が参観しました。次回の合同参観デーは、9月7日(木)です。中学校の中体連秋季大会結団式に合わせて実施しますので、多数のご来校をお待ちしております。



岩木山学習(ひろさき卍学)実施

6月28日(水)29日(木)、中学校1年生による宿泊体験学習が岩木青少年スポーツセンターで行われました。その事前学習として、6月26日(月)、「岩木山学習」を、「ひろさき卍学」の一環として、「岩木山はどんな山なのだろうか」というテーマで実施しました。講師は中学校校長と間山教諭が務め、社会科的な視点と理科的な視点で岩木山について学習することができました。その振り返りの一部を紹介します。



- ・見る場所によって色々な見え方があった。青森から見るより弘前から見た方がカッコイイ。
- ・津軽富士と呼ばれていることや高さが1625mあることが分かった。ふるさと富士が340もあることが分かった。
- ・昔、凶作などの時に津軽の人たちが信仰の山、神の山として敬っていることが分かった。
- ・岩木山は国定公園なのでこれからも僕たちの力で守っていきたい。岩木山にしかミチノクゴザクラは生えない。
- ・お山参詣という行事があり「サイギサイギ、ドッコイサイギ」と唱えていることが分かった。
- ・成層火山、活火山で、近世には25回くらい噴火しているけれど、今は警戒レベル1で安心した。
- ・昔、自然災害が多かった時に、岩木山は苦しんでいる人を支えている山だと思った。岩木山があるおかげで弘前の雪の量が少なくなったり、おいしいリンゴや米が収穫できる、なくてはならないふるさとの山だと思う。
- ・弘前のことを知る授業はすごく大事だと思いました。なぜかという、弘前のよいところを知り、広めたいからです。



社会科的な視点から



理科的な視点から



石川小・中学校の校歌にも唱われている石川小・中学校から見える
岩木山

「学校から見える岩木山」でネットを検索すると弘前市の各小・中学校から見える岩木山を見ることができます。(弘前市HP) 一度ご覧になってください。オススメです。

大沢ねぶたに参加します。



祝 創立記念石川小140周年 石川中70周年

とき 8月5日(土) 18時集合

弘前郵便局前

※保護者の引率が必要です。
近日中に詳しいお知らせを出します。

児童生徒に参加を呼びかけるために作成したポスター

お知らせ

- ・「小中一貫CSだより」を弘前市のHPにアップしました。弘前市HPトップ→「子育て・教育」→「学校教育」→「中学校」→「石川中」で検索してみてください。
- ・「施設一体型小中一貫校建設」に係る要望書を石川地区町会連合会長小田桐久氏が教育長に提出しました。(6/27)

今年度は、小学校創立140周年・中学校創立70周年であるとともに、周年度が丁度2倍になるという記念すべき年です。(2倍になるのは29年度しかありません) また、30年度から小中一貫教育とコミュニティ・スクールが開始され、来年度に向けて一歩踏み出す年でもあります。このことを広くPRするためにねぶたへの参加を考え、大沢ねぶた愛好会会長相馬栄一氏にご相談したところ、ご厚意により石川小・中学校児童生徒(希望者)のねぶたの参加を快く引き受けてもらいました。

右のように8月5日の駅前コースの時に希望する児童生徒も参加しての運行が行われます。雨で中止にならないことを祈っています。なお、運行に花を添えるために下のような幟旗を作成中です。

